

多紀アルプス (御嶽793m・小金ヶ嶽725m)



(ハイライトシーン) [※ 実施日--2022年4月12日(火)] ※ 弥生班 計5名

⑥ (10:15 御嶽の山頂)



⑦ (11:15 大タワ)



⑧ (鎖場1)



⑤ (大嶽寺跡)



⑨ (鎖場2)



⑩ (鎖場3)



⑪ (鎖場4)



④ (ミツバツツジと綺麗ドコロ)



(多紀連山 ロードマップ)



⑫ (13:10 小金ヶ嶽の山頂)



③ (最初から急登)



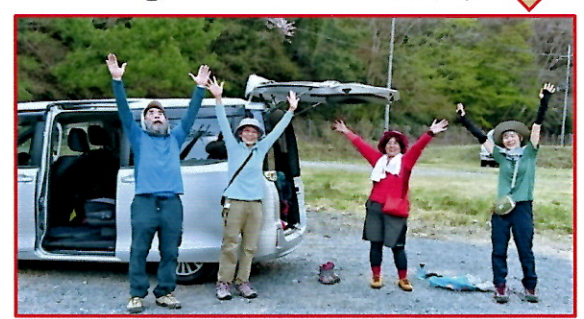
⑬ (ランチタイム)



② (猪除け柵を潜る)



⑭ (16:00 下山--駐車場)



① (8:20 出発 御嶽登山口)

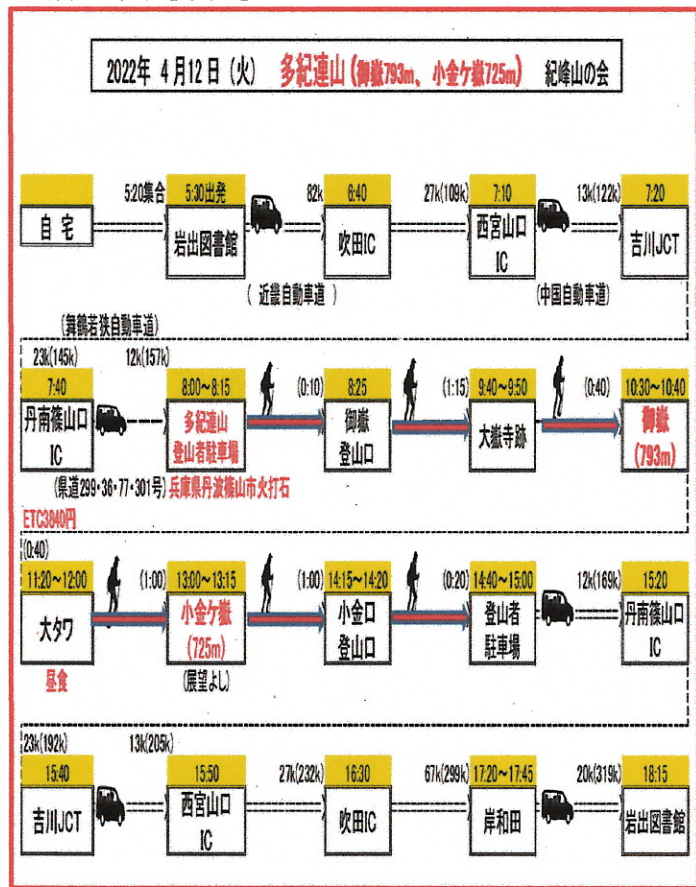
多紀アルプス (御嶽・小金ヶ嶽)

紀峰山の会 (弥生班)

※(山行日) ---- 2022年4月12日

(メンバー) ----- 計5名

※(行程) [予定]



※(行程) [結果]

(往路--車移動)

| | | |
|---------|------|------|
| ○岩出図書館 | (出発) | 5:30 |
| ○登山者駐車場 | (到着) | 8:00 |

(山行).

| | |
|---------|-------|
| ① 駐車場 | 8:10 |
| ② 御嶽登山口 | 8:20 |
| ③ 大嶽寺跡 | 9:30 |
| ④ 御嶽 | 10:15 |
| ⑤ 大タワ | 11:15 |
| ⑥ 小金ヶ嶽 | 13:10 |
| 昼食 | 13:30 |
| 出発 | 13:30 |
| ⑦ 小金口 | 15:30 |
| ① 駐車場 | 16:00 |

(帰路--車移動)

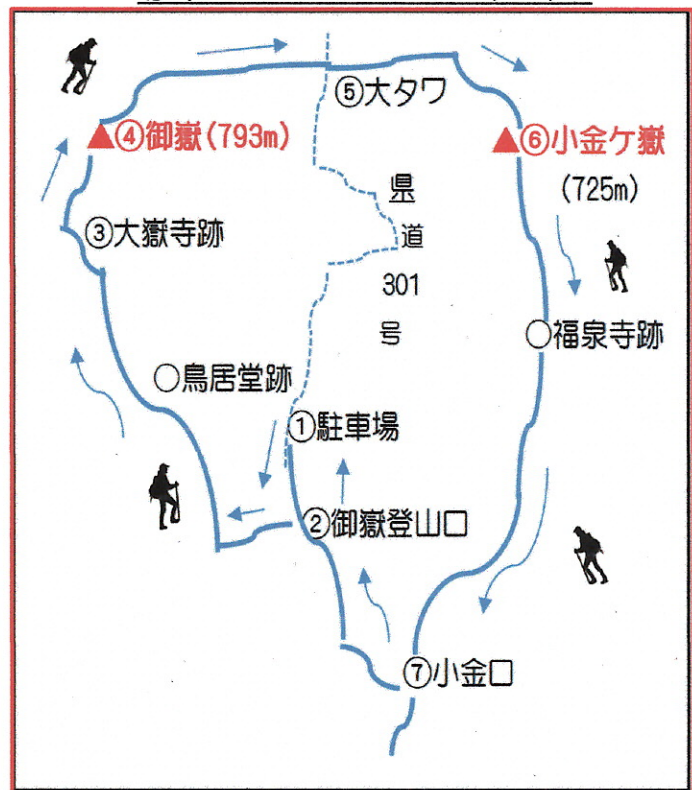
| | | |
|---------|------|-------|
| ○登山者駐車場 | (出発) | 16:00 |
| ○岩出図書館 | (到着) | 18:40 |

※[はじめに]

(多紀アルプス)

- ・多紀アルプスは、京都府から丹波篠山市、丹波市にかけて高い岸壁状に連なる500m～700mの山々の総称で、多紀連山とも呼ばれる。
- ・主峰は**御嶽(793m)**で**西ヶ嶽(727m)**、**小金ヶ嶽(725m)**の3つの峰がある。
- ・これらの山々は、平安時代末期から中世にかけて修験道行場として栄えたが、1482年、大峰山の僧兵が襲来し、寺院はすべて焼失しました。今も大岳寺跡、福泉寺跡、水飲場などを見ることができる。(現地案内板より)

(多紀アルプス ロードマップ)



(山行記録)

- ・当初は6人の参加予定であったが、天気予報の変化等で5人の山行実施となった。
- ・現地までの交通で中国自動車道(中国池田～宝塚)が工事による規制が判明したため、急遽、阪神5号湾岸線、新神戸トンネル、舞鶴若狭道を通ることにした。結果、現地へは予定より早く(1時間程度)到着できた。
- ・現地到着後、弥生班の今年度からの方針である準備体操と、ミーティング(本日の行程や注意事項の情報共有)を実施。

・本日は、天気予報がよい意味ではずれ快晴。

・最初の目的である御嶽までは順調で大タワで昼食予定であったが小金ヶ嶽まで伸ばした。小金ヶ嶽での昼食時、地元登山者との情報交換等、交流も行った。

・小金ヶ嶽からの下山は、鎖場や岩場の連続で時間を費やし、前半の1時間の貯金を使い果たし、結果的には予定より1時間遅れの下山到着となった。

・帰路は、高速道路の夕方のラッシュを避けるため、川西まで一般道を通り北摂里山街道、能勢街道、近畿道を通ることにより、渋滞を避けて予定通りの帰着ができた。

(写真1) (8:20 御嶽登山口)



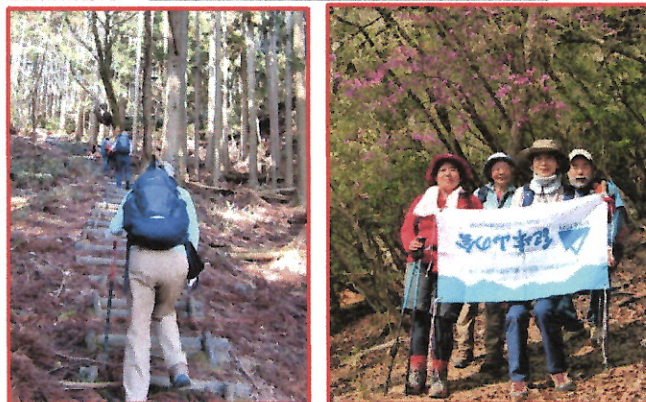
・晴天に恵まれ準備体操後、先ずは登山口で記念撮影。

(写真2) (山行のスタート)



・登山口は、猪除けの柵がある・安全を祈願し、入獄します。

(写真3) (最初から急登の始まり——)



・途中にミツバツツジが咲いていた。花と綺麗どころ?に見とれ、旗の逆さまに気づかず撮影する。

(写真4) (鳥居堂跡)



(写真5) (大岳寺跡の案内看板前にて)



・案内板を読み、歴史を感じている。

(写真6) (10:15 御嶽の山頂)



(写真7) (11:15 大タワ広場)



・縦走の中間点である大タワ、皆さん笑顔です。「タワ」とは、山の稜線のくぼんだ所を言う。

(写真8) (フォレストアドベンチャー)

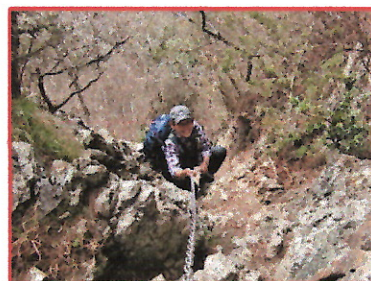
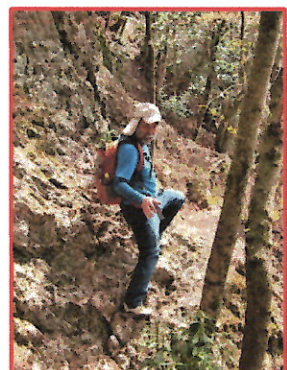


・途中には、色々なアスレチックな設備がある。

(写真9) (小金ヶ嶽への厳しい登頂..その1)



・鎖場もへっちゃらと笑顔で進む.....



(写真10) (小金ヶ嶽への厳しい登頂..その2)



・鎖場の連続で、笑顔がなくなりひたすら進む。

(写真11) (小金ヶ嶽への厳しい登頂..その3)



・スリルを味わいながら.....?

(写真12) (小金ヶ嶽への厳しい登頂..その4)



・岩場を乗り越え、もう少しで頂上だ

(写真13) (13:10 小金ヶ嶽の山頂到着)



(写真14) (小金ヶ嶽の山頂)



- ・本日の唯一の全員写真。山頂で出会った地元山行者に撮影を依頼する。
- ・晴天で眺めがよく、心地よい汗で達成感がある。

(写真15) (ランチタイム)



- ・眺めがよく食欲が進む。
- ・他の山行者を含め、お菓子の物々交換や情報交換で話が弾み、楽しい一時である。

(写真16) (13:30 下山開始)



(写真17) (下山途中にある福泉寺跡)



(写真18) (クリンソウ)



- ・自然公園内の谷筋一帯は、クリンソウの貴重な自生地だそうだ。
(1か月後にピンク色の花が咲くようだ)

(写真19) (15:30 小金口)



(写真20) (16:00 駐車場へ到着)



※[最後に] (トラブル)

- ・トラブルは無いが、小金ヶ嶽の登頂と下山時は鎖場や岩場が多く、計画の時間配分が甘かった感じがあり、反省材料である。

(感想)

- ・多紀連山は思っていた以上にタフなところがあった。御嶽は難なく通過したが、小金ヶ嶽は鎖場や岩場の連続でスリル感があり、変化に富んだ面白い行程であるが、鎖場や岩場に慣れていないメンバーもあり、今後は訓練も必要と感じた。
- ・晴天に恵まれ、山頂では地元山行者との出会いでお菓子の物々交換や情報交換ができ、久々の山行を堪能できました。
- ・次回の「局ヶ岳&珍布峠」の山行が楽しみだ。